

事業概要報告

実際にこんな活動を行いました

「あいち森と緑づくり事業」では、00年度までにさまざまな事業を行いました。
その実施概要を報告します。

里山林の整備

市町村が行う地域住民との協働による里山林の整備や里山林健全化のための整備を支援した結果、地域住民やNPOが継続的に保全活動を実施するようになりました。

森林の整備

林道等から遠く離れた奥地や作業性が悪い公道・河川沿いの人工林の間伐を森林所有者に代わり実施した結果、県全体の間伐面積の5割を担うなど、本県の間伐推進に大きく貢献しました。

都市緑化

市街地内の緑の保全・創出や民有地の緑化推進など市町村の取り組みに対する支援を実施した結果、8年間で82haの緑を保全・創出したほか、67kmにも及ぶ並木道の再生につながりました。

イベントの開催

8年間で延べ16万人の県民がイベントなど参加型の緑づくりに参加しました。これにより参加者の68%が「森や緑の関心が高まった」、85%が「今後も参加したい」と回答しました。

あなたの500で

森林(人工林)整備に取り組みました

1 実際に行ったのは…

林道等から遠く離れた奥地や作業性が悪い公道や河川沿いの人工林について、森林所有者に代わり県が間伐を実施しました。

合計15,000haに及ぶ範囲での間伐を計画し、実際に行ったのは13,216ha。進捗率は88%と、ほぼ計画通りに事業は進んでいます。



公道沿いの事業植

区分	事業計画	実績	進捗率
奥地	10,000ha	8,176ha	82%
行動・河川沿い	5,000ha	5,039ha	101%
計	15,000ha	13,216ha	88%

2 こんな成果が…

全体での間伐面積の5割を担うなど、愛知県に置ける間伐推進に大きく貢献しています。実際に事業を行った地域では、光環境の改善により下層植生が増加していることが確認できました。



また、愛知県の試算によると、9年間の間伐実績で、水源涵養効果が160億円、土砂流出防止効果が45億円、合計205億円以上もの金銭的な効果が出ていることも分かりました。

水源涵養効果 160億円 + 土砂流出防止効果 45億円 = 205億円以上

3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つかりました。

間伐に必要な森林は、以前として多く存在しています



流木対策や森林資源の有効活用が必要です



道路沿いや集落周辺の危険木(枯損木、老齢木)への対策が必要です



人工林の高齢化が進んでいます



4 これからは…

以下のような活動を行います。

道路沿い等の人工林の間伐を優先的に実施します

整備の困難な地域の間伐を県が推進します

間伐材の搬出を推進します

少花粉スギ等への植え替えを促進します

こんな未来が待っています!

私たちの暮らしにさまざまな恩恵をもたらす緑豊かな森林が整備されます。



あなたの500で

森林整備技術者養成に取り組みました

1 実際に行ったのは…

作業条件の悪い森林でも作業をしてくれる技術者の養成を行いました。当初の計画では200人の技術者を養成する予定でしたが、実際には計画を上回る227人を養成。それぞれ現場で力を発揮しています。



区分	事業計画	実績	進捗率
養成者数	200人	227人	114%

2 こんな成果が…

受講者の9割に当たる202人が、条件の悪い森林での間伐作業に従事してくれました。

また、アンケート調査によると、研修受講者・受講者が勤務する会社の8割が「現場で役立っている」と回答しています。



研修受講者の現場作業状況

3 こんな課題も…

大きな成果を出している一方、以下のような課題も見つかりました。



道路沿いの間伐では、通常の間伐に比べ高度な技術が必要となります

作業員の技術の向上が必要となります

事故が発生してしまいました

4 これからは…

以下のような活動を行います。

高度な技術を有する森林整備技術者の養成を行います



こんな未来が待っています!

技術のある整備者により事業が進むことで、よりきれいに整備された森林が増えることになります。また、整備者を確保することにより雇用状況も改善されます。

